

学校法人
東北外語学園



題字は同窓会名誉会長
袴田雄次氏の筆である。

東北外語 同窓会報

第17号

事務局 東北外語観光専門学校内
〒980-0022
仙台市青葉区五橋二丁目1-13
TEL 022-212-1633
FAX 022-227-6811

平成26年度 東北外語学園同窓会事業予定

平成26年 6月 6日(金) 第1回役員会(本校五橋校舎)
7月 6日(日) 平成26年度同窓会総会・懇親会
(本校五橋校舎2号館セミナーホール・学生交流室)
11月20日(木) 「スピーチコンテスト」への助成
参加賞(図書カード)
平成27年 2月 6日(金) 第2回役員会(本校五橋校舎)
「日本語科スピーチ大会」への助成
学生賞(セラミックヒーター)、参加賞(図書カード)
3月19日(木) 平成26年度卒業証書授与式
同窓会より記念品贈呈
同窓会報発行(第17号)

平成25年度 東北外語学園同窓会事業報告

平成25年 6月 7日(金) 第1回役員会(本校五橋校舎)
6月29日(土) 平成25年度同窓会総会・懇親会
(本校五橋校舎2号館セミナーホール・学生交流室)
11月13日(水) 「スピーチコンテスト」への助成
参加賞(図書カード)
平成26年 2月 7日(金) 第2回役員会(本校五橋校舎)
「日本語科スピーチ大会」への助成
学生賞(文房具)、参加賞(図書カード)
3月19日(火) 記念品贈呈(卒業証書授与式、仙台市福祉プラザ)
同窓会報発行(第16号)

平成26年度 東北外語学園同窓会予算

収入の部 [単位 円]				
項目	前年度予算額	本年度予算額	増減	摘要
会費	1,465,000	1,050,000	-415,000	127名分
雑収入	800	800	0	利子分
繰越金	6,845,809	7,809,574	963,765	H25年度分
合計	8,311,609	8,860,374	548,765	

会費 127名分の内訳
英語科 10,000×52名=520,000 日本語コミュニケーション科 10,000×4名=40,000
国際観光科 10,000×26名=260,000 日本語科 5,000×44名=220,000
1年専科 10,000×1名=10,000

支出の部 [単位 円]				
項目	前年度予算額	本年度予算額	増減	摘要
総会費	600,000	400,000	-200,000	通信案内他
役員会費	60,000	60,000	0	会議
会報費	50,000	50,000	0	制作
記念品費	200,000	400,000	200,000	卒業記念品
助成費	45,000	45,000	0	行事補助/支部同窓会
ライブラリー充実費	100,000	100,000	0	
消耗品費	40,000	40,000	0	事務用品/来校記念品
慶弔費	20,000	20,000	0	祝儀 香典
小計	1,115,000	1,115,000	0	
予備費	7,196,609	7,740,374	543,765	
合計	8,311,609	8,855,374	543,765	

平成25年度 東北外語学園同窓会決算

収入の部 [単位 円]				
項目	予算額	決算額	増減	摘要
会費	1,465,000	1,620,000	155,000	187名
雑収入	800	1071	271	利子分
繰越金	6,845,809	6,845,809	0	H24年度分
合計	8,311,609	8,466,880	155,271	

支出の部 [単位 円]				
項目	予算額	決算額	増減	摘要
総会費	600,000	279,711	-320,289	通信案内他
役員会費	60,000	45,893	-14,107	会議
会報費	50,000	32,235	-17,765	制作
記念品費	200,000	179,676	-20,324	卒業記念品
助成費	45,000	28,940	-16,060	行事補助
ライブラリー充実費	100,000	90,851	-9,149	書籍・DVD
消耗品費	40,000	0	-40,000	
慶弔費	20,000	0	-20,000	
小計	1,115,000	657,306	-457,694	
予備費	7,196,609	0	-7,196,609	
合計	8,311,609	657,306	-7,654,303	

8,466,880 - 657,306 = 7,809,574 監査の結果、正確に執行されていたことを報告します。
次年度繰越金 7,809,574 監事 佐々木 研一 監事 平間 哲郎

同窓会役員

名誉会長 袴田 雄次
会長 三浦 隆
顧問 橋本 信二
顧問 貝原 一郎
顧問 吉岡 榮一
顧問 石川 泰一
副会長 千石 直隆
幹事 日出 山
事務局 佐藤 隆
平成二十七年 同窓会幹事名

(東北外語観光専門学校)

英語科 勝又 洗
英語科 佐々木 春士
国際観光科 白濱 美
国際観光科 島村 誉
日本語科 方村 晨露



同窓会報17号発刊にあたり、ご執筆いただきました方々に御礼を申し上げます。当学園での思い出やクラス会の報告等、内容は問いません。多くの同窓生の方からの寄稿をお待ちしております。お気軽に事務局宛にお送りください。また連絡先などが変更になった場合もお手数ですが、お知らせください。



平成27年度同窓会総会(案内)
次回の同窓会総会は、平成27年7月5日(日)を予定しております。同期の学友にもお声掛け頂き、是非ご出席いただきたく、案内申し上げます。詳細はHPの「在校生卒業生の方へ」というページでお知らせいたします。

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。東北外語での学生生活を振り返るとき、それぞれに感慨深いものがあると思います。入学時に立てた目標を達成したという人もいます。そして、それは叶わなかったとしても、充実した生活を送ることができたという人もいます。一方では、不完全燃焼感が強い人もいます。そのいずれでも、過去は過去です。それにとらわれ



Do Your Besti

校長 橋本 二郎

ることなく、日々新たな気持ちでこれからの人生を歩んでほしいと思います。新しい世界に飛び立ちたいとする卒業生の皆さんに贈りたい言葉、それは、Do your bestです。英語のDo your bestは、日本語の「最善を尽くそう」「全力でやろう」「頑張ろう」などに近い表現ですが、英語と日本語とは違い感じられます。特に、Do your bestのbestの前はyouという言葉がはいっている点が



学ぶ力

理事長 橋本 綱夫

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。みなさんの多くは、長く続いた学生の期間も終わりを告げ、今後社会人として働くこととなります。しかし、勉強はむしろ学校を卒業し社会に出た後が本番です。社会の変化が激しい現在において、今まで学んできた知識・技術はどんどん進歩し、次々に新しい知識・技術が生まれてきます。そして、新しい知識・技術を継続的に学び、習得していくことが第線で活躍するために必要不可欠です。

そのためには、みなさん一人ひとりが「学ぶ力」を身につけることが大切です。「学ぶ力」とは、新しいことに好奇心を持つたり学ぶ必要を感じたり、学ぶ過程を楽しむ、そして自ら成長した結果に達成感を感じ実践に生かしていく、という一連のプロセスを自分で実行できる力であると考えています。「学ぶ力」を持



卒業生の皆さんへ

同窓会会長 三浦 崇

この春、学び舎を旅立たれる輝かしき卒業生の皆さんへ。卒業おめでとうございます。清々しく心晴れやかな門出を衷心よりお慶び申し上げます。学業に専念した人、資格を目標通りに習得した人、海外のホームステイで世界観をさらに広げた人、アルバイトで社会勉強をした人等様々な学校生活を通して社会で羽ばたける「自分」を磨いてきたことでしょう。

さてそんな皆さんの向かう未来にはどのような展望がみえるでしょうか。ITが益々発展し世の中がコンピュータ世界になる日も近いでしょう。パソコン市場も世界一のデスクトップ型からスマートフォンやタブレット端末へ、そして腕時計型の携帯端末等想像を絶するスピードでIT世界は動いています。それらを生み出し世の中に送り出したのは正に人間です。モノは企画し幾多の失敗や模索を繰り返して製

品化され、その先には販売という高いハードルが待っています。そこで必要なのが世界に発信する語学力とプレゼン力となるでしょう。発明者も社長も一流の人間と呼ばれる人もスタートは同じ土俵です。卒業生の皆さんは正にそのチャンス渦の中に居ます。皆さんの学んだ知識は必ず活かす時がきます。出来ない理由より出来る方法を探り、愚痴を言うより前向きな一歩で自分自身を叱咤激励し頂点へ上り詰めて下さい。世の中できないことは何一つありません。また今後様々な進歩グローバル化やTPPなど海外と連動した世界規模の市場化が加速して行くでしょう。

さあ皆さんの出番です。考え行動し、時に「ごつごつ」とどのような状況でも、確実に成長し成果を出すことができるようになります。学ぶ対象は、学問や資格といったわかりやすい勉強の対象に限定されません。初めて仕事に就くのであれば、挨拶の仕方から敬語の使い方、コミュニケーションの取り方まで、あらゆること学ぶ対象となります。むしろ、机上で勉強できない技能を、仕事をしながら素早く学ぶことができるか、の方が社会人としては重要なことが多いのです。さらに、ただ知識・技能を記憶するだけではなく、「なぜ」そうなるのか、という背景について深く掘り、本質をつかむことで「学ぶ力」はさらに強くなります。トヨタの生産方式を体系化した人物として知られる大野耐一

注目されます。他人にとってベストというのはなく、あなたにとってベストなことをやりなさいと言っているのです。何がベスト、最高、あるいは最善であるかは、人によって違ってくるでしょう。他人と比較することなく、自分がやるべきことを精一杯やればいいのです。何事を行うにしても、ベストを尽くすという心持は大切で重要です。人間は、本来、楽な方を選ぶところがありますから、知らず知らずのうちに、ベストというより安易な道を選んでしまいます。また、ややもすると、ベストを目指すどころか、最低ラインをクリアするだけで満足してしまうこともありますが、結果その物事が思い通りにならなかった時、結果そ

自分の足跡を振り返り軌道修正をしながら明るい自分らしい煌々ある未来を力強く切り開いて行ってください。欲しいものは自分の腕で稼いで手に入れて下さい。そして世の中益々他人思考が強まるでしょう。でもここで一緒に学んだ友は一生の宝として大事にして下さい。かけがえの無いのは家族・友・健康です。健康であれば何でもできます。未来に幸多かれと同窓生同期待っています。また年に一度同窓会を企画し卒業生の交流の場を開いています。お誘い合わせのうえご出席を頂ければ嬉しく思います。

未文となりますが卒業生の皆様の益々の活躍を祈念しお祝い言葉と致します。

は、「5回「なぜ」を自問自答することによって、ものこの因果関係とか、その裏にひそむ本当の原因を突きとめることができる」と言っています。「なぜ」と問い、本質を理解することで、知識・技能はただの静止画としての情報から生き生きとストーリーを持つ動画になり、みなさんの血肉とすることが出来ます。

このようなあらゆる学ぶ対象について、意識して一つひとつ学んでいく。そのことで自分自身がどんどん磨かれていき、3年5年と時間が経つうちに、ただ漫然と時間を過ごしている場合と比べて、大きな違いを生むことになり、「学ぶ力」を意識し、卒業後もさらに成長、飛躍していくことを願います。

のもののついてよりも、ベストを尽くさないでしまった自分に対する後悔の方が強いことがよくあります。いつもベストを尽くすように心がければ、さわやかな充実感を感じることも出来るでしょう。自分の失敗の責任を他人に転嫁することも少なくなるでしょう。物事を行うにあたって常に自分のベストをおぶつかるようにすれば、うまくいかないことがあつたとしても、そこから学べることは多いはず

ときどき、「Have I done my best?」と自分に問いかけてみましょう。その問いに「Yes」と答えられるとき、おのずと道は開かれていくものと信じます。

ホームページ <http://www.tohokugaigo.ac.jp>

先生からのメッセージ

元常勤講師

メイナード プラント
(モンキーマジック)



皆様、ご卒業おめでとうございます。卒業とは節目でもありますが、また新しい人生の幕開けでもあります。学生生活では、いろいろな壁にぶつかり、悩んだ事もあったとは思いますが、これから歩む人生の中で、この学生時代を振り返った時に、きつこの思いや努力を無駄だったと思う事は、きつこないはずですよ。

私が外語で働いていたのは、もう十年以上も前の事ですが、今でも時々卒業生にいろいろな場所まで声をかけられます。立派な大人になり、キャリアを生かしている姿をみると外語で教える事が出来て良かったなとつくづく思います。そして、彼らがかけがえない友人に外語で出会えたと言う話を聞くと、とても嬉しく思います。なぜなら、私もその一人だからです。『これからの未来?』

皆様の前には、数えきれない程のチャンスと冒険が待っています。学んだ言語を生かして国際的な環境での活躍、外語で培った人生において最も重要な「人間のスキル」を生かしての活躍、これからの未来を自分たちの手で、どんどん切り開いていってください。最後に、新しい言語、新しい事を学ぶ事は、容易な事ではありませんが、外語で学んだ「努力」と「学ぶ習慣」

2014年度 主な年間行事

英語科・国際観光科
日本語科・コミュニケーション科 一年専科

4月

●入学式

●新入生オリエンテーション

(秋保温泉 岩沼屋ホテル) 1泊2日の日程で「英語学習法」の講義や、「コミュニケーション」をテーマとしたワークショップが行われました。ホテルで一泊を過ごすことにより学生間の交流がさらに深まり、新しい友達を作る良い機会となりました。



5月

●春のレクレーション

(東京デイズニerlandバスツアー) 毎年恒例のTDRバスツアーが行われました。本年度はデイズニerlandに向けて8:00に外語を出発。14:00に到着後、終園の22:00までたっぷり楽しむことができました。車中泊というかなり強硬なバスツアーですが学校行事では一番人気です。

は、きつここれからの皆様の財産となることでしょう。そしてその継続こそがきつこ確かなゴールがあると私は信じています。



今年15周年を迎えたMONKEY MAJIK 2015年のアニバーサリーの幕開けとして2月4日に9枚目のアルバム「Colour by Number (カラー・バイ・ナンバー)」をリリース。

先生からのメッセージ



講師 川村 理佳

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

学生の皆さんが悩みながらも、ゆくりでも成長していく姿には、私たち教師は勇気と喜びを貰います。私は日本語科の講師ですので、関わる学生は留学生です。その留学生達が、日本へ来て異文化という聳え立つ壁に



6月

●第1回同窓会役員会

7月

●同窓会総会

10月

●スポーツ祭

仙台市体育館を貸し切り切りスポーツ祭が行われました。種目はフットサル、バレーボール、ドッジボール。専門課程、日本語科の学生がそれぞれのチームに分かれて熱いゲームが展開されました。



11月

●スピーチコンテスト

●海外エアライン実習(韓国)

12月

●海外語学研修(オーストラリア)

●海外ホテル研修(オーストラリア) 専門課程の1年生を対象とした研修で、キングスクリフ市の一般

はね返され、頑なになり、しかしそこから小さなゴールを見つけ、一歩進む姿。また、日本人学生の小論文を添削する機会を頂きましたが、その小論文に込められた、自分の人生を切り開きたいという強い意思。学生の皆さん自身が見落としてしまいうなほ小さな成長かもしれないけれど、確実に一歩です。

最近ある一人の成長していく若者に感動させられました。田中陽希、屋久島から北海道利尻岳まで、百名山を踏破しました。方法は徒歩とカヤックだけで、全行程7800キロ。7か月に渡りました。この挑戦はグレートトラバースという番組名でテレビ放映もされています。7800キロの行程は当然苦難の連続です。100の険しい山の登頂・足の痛み・冬の北海道の海峽を、9時間かけてカヤックで渡りきったあとの「生きてよかった」と涙する姿。その体力・気力に驚くばかりです。

しかし、この若者の強さを最も感じたのは、一般道を歩く時、「またひとりになっちゃった」と、孤独感を吐露し、それでも歩を止めない姿です。登山では時に同行者も現れませんが、一般舗装道路ではいつも一人です。登山は苦しいですが目標が見えやすいし、美しい自然という最大の支えがあります。一般舗装道路にはそれがありません。平坦で目標が見えず、孤独と戦い、ただ自分と向き合う時間だったのではないのでしょうか。人の歩みはまさにこの様ななと思いました。目標が明確に見えていたときは、頑張れるものです。でも、目標と目標の間の平板でいつ終わるか見当がつかない道のりは実につらい。ですが、この道のりを耐えて歩みを進



家庭にホームステイしながら英語を学び、現地のホテルで職業体験をするプログラムです。異文化に触れることで日本ではなかなか得られない貴重な体験をすることが出来ました。

●海外添乗員研修 (韓国・シンガポール)

2月

●第2回同窓会役員会

3月

●卒業式

日本語科

4月

●4月生入学式

5月

●4月生対象交通安全講習会

●パスナー(東京デイズニerland) 昨年に引き続き専門課程の学生と一緒に東京デイズニerlandに行ってきました。参加した学生たちは初めてのアトラクション体験などで楽しい思い出を作ることができました。

めなければ、次の目標が見えてこないでしょう。

外語を巣立つ若い皆さんには、その耐える力も前に進む力も、十分に備わっていると思います。自らに誇りを持つて歩んで行って欲しいと思います。最後に、田中陽希さんが100山を踏破したとき、自分には涙ではなく、笑顔が似合うと言って、最上の笑顔を見せていました。そして、天に向かつて「ありがとう」と叫びました。

卒業生メッセージ



平成23年3月 国際観光科 卒業 吉澤 海紅

私は現在旅行会社の営業職として働いています。主に担当している教育旅行では、修学旅行を始め研修旅行や部活の遠征など学校から派生する旅行の企画立案から添乗まで一連の業務を行っています。外語の新生入生オリエンテーションやデイズニerlandバスツアーもお手伝いさせて頂いています。学生時代、私自身とても楽しみにしていた行事に、卒業した今でも仕事として携わることができ大変嬉しく思います。

外語を卒業して早いもので5年が経ちます。旅行会社で働きたい!という夢を叶えてくれた外語に恥じぬ



9月

●前期修了式

10月

●10月生入学式

●スポーツ祭

今年度は仙台市体育館で専門課程の学生たちと一緒にスポーツ大会が行われました。バレーボール、バスケットボール、ドッジボールの3種目を国籍関係なく、楽しんでいました。

11月

●10月生対象交通安全講習

●野外レクリエーション

今年度は仙台ハイランドに行ってきました。学生と先生と一緒にアトラクションや芋煮などを楽しみ、交流を深めました。



よう、入社以来がむしやらに仕事に取り組んできました。楽しいこと、嬉しいこともあれば、正直辛くて逃げ出したいこともありましたが、ですが、そんなときにも念頭においていたのは「周りに惑わされずに自分を持つ」ということです。私の仕事は常に競合他社との競い合いです。入社したての頃は他社の営業頻度を気にしては、どうすれば他社に勝てるのか、そればかりを考えていました。しかしあるとき、「この学校の為ならどんな仕事でも頑張ろう」と思えるお客様との出会いがあり、それから他社の状況がどうであれ、「相手はこの仕事を絶対成功させるだろう」という気持ちで1つ1つの仕事に全力で取り組みました。相手の失敗を願うのではなく、成功をイメージすることで、ベストを尽くすことができ、仮にそれが結果として結びつかなくても納得がいくようになりました。

周りを言い訳にした瞬間、自分の成長は止まると私は思っています。自分が置かれた状況に不満があるのなら、どうすればより良い環境になるのか自分自身が考え、努力し続ける他ありません。「必死にもがき苦しむ経験が財産になる」と新入社員時代に上司に言われました。5年経った今、本当にその通りだと思っています。どんなに理不尽なことを言われても、思い通りにならなくても、まずは目の前のことに向き合いつつ続けてみてください。

ありきたりではありますが、どんなことも無駄なことはありません。全てに意味があります。外語に入ってきた様々な挑戦してきた志の高い皆さんならきっと大丈夫です。陰ながら皆さんのことを応援しています。

12月

●年忘れパーティー

恒例の年に一度の「年忘れパーティー」。この日はおいしいピザや寿司、ケーキなどを食べながら、学生達が企画したクラス対抗の楽しいゲーム大会などで盛り上がりました。



2月

●スピーチ大会

今年も本校を会場に行いました。各クラスから2名が選出され、16人が発表しました。最優秀賞は上級Aクラス方晨露さんで「言葉の魔法」というタイトルでスピーチを行いました。



3月

●修了式

●卒業式